

2. 学校評価(学校関係者評価)

- ※ 評価の基準
- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 4:よく取り組んでおり、成果が大きい | 3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる |
| 2:取り組んでいるが成果が十分でない | 1:取組が不十分である |

学校関係者意見等	評価
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ・ラーニング公開授業研究会」の実施、教職員の自己評価での改善策の記入等、積極的な取組が評価できる。 ・学校は、教職員の指導力や思いを把握した上で、学力向上の方策を練ってもらいたい。 ・学力向上には「授業改善」が最善の方法なので、教職員の意欲を引き出し、協働して学力向上に取り組んでもらいたい。 ・「アクティブ・ラーニング」や「チャレンジ学習」の実施等、学力向上に向けて努力して取り組んでいる。 ・体育大会での「学級旗」の作成や「カラーパネルの人文字」の挑戦などで、クラスの団結力が高まったと思う。 	3.1
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・教員のカウンセラー的な立場での指導が、ますます必要とされている。 ・教職員が、「心の教育とは何か」を自問自答しつつ、生徒と接していくことが大切である。 ・生徒の安全・心のケアのために、生徒・保護者に寄り添ったきめ細かい対応ができていると思う。 ・心の教育にかかわる教職員の研修を計画してはどうか。 ・「トライやる・ウィーク」の感想から、親への感謝と家族間の会話が増した等、心の成長がみられる。 ・職員間でのコミュニケーションを大切にってもらいたい。 	3.0
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校づくりに取り組む</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの充実した内容や、生徒アンケート、保護者アンケートの公開等、大変評価できる。 ・職員の中から、道徳の指導での課題に関する指摘が出てきたことは評価できる。 ・小中連携は、中学校が主体となってリードしていることが重要である。 ・地域清掃に努めたり、幼稚園・小学校との連携事業をすすめる事は、保護者や地域住民からの信用を得る大きな力となる。 ・「たそがれコンサート」の開催が定着し、先生方と生徒に感謝している。 ・「朝読書」「おはなし集会」等の取組に努力が感じられる。 	3.0
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「交通安全教室」、「避難訓練」、「エピペン講習会」、「情報モラル講演会」等の実施から、生徒だけでなく教職員の意識の高まりを感じる。 ・学校だよりに、教育環境について、ハード面の点検や整備、ソフト面の充実等努力されていることが窺える。 ・登校中に地震が起きたとき、生徒に適切な指示が出せていた。 	3.0
<p>5 教育目標</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートで、「進んで授業に取り組んでいる」の肯定的割合がアップしてきているのは、教職員の取組の成果である。 ・日々の授業や行事をはじめ、学校教育活動全てが教育目標と関連があることを、時間をかけて説き続ける必要がある。 ・「チャレンジ学習」に参加することで、学びながら友人も大切にすることも学んでほしい。 ・図書室で、図書委員さん等が、敬語で会話してくれる。 	2.9
<p>6 研究テーマ</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「研究推進委員会」の取組や「アクティブ・ラーニングの公開授業研究会」等から、教職員の意識の変化が感じられる。 ・市の「全体教科研究会」の研修も活用しながら、全教科でなくともできる教科から教科研究を進めてもらいたい。 ・「アクティブ・ラーニング」について、「自分にはできない」と考えず、各自が一歩ずつ前進すれば、学校全体の進展になる。 	3.0